



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 レッグス

コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内川 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 平賀 一行

TEL 03-3408-3090

四半期報告書提出予定日 平成27年5月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,387	△7.5	105	△22.6	114	△25.8	58	△25.7
26年12月期第1四半期	2,582	7.4	136	399.7	154	199.8	78	185.3

(注)包括利益 27年12月期第1四半期 131百万円 (78.3%) 26年12月期第1四半期 73百万円 (67.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	5.57	5.41
26年12月期第1四半期	7.55	7.32

平成26年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	5,532		4,060			72.7
26年12月期	5,609		3,993			70.5

(参考)自己資本 27年12月期第1四半期 4,019百万円 26年12月期 3,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,700	3.0	245	△25.8	245	△30.5	140	△18.9	13.34
通期	12,600	10.1	700	12.2	700	5.1	400	8.6	38.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	10,840,000 株	26年12月期	10,840,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	316,000 株	26年12月期	344,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	10,501,986 株	26年12月期1Q	10,415,600 株

平成26年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合での株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格下落の影響や政府の各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善傾向がみられるなど、緩やかに回復傾向が続いています。

当社グループが属する広告・販促業界においては、大手広告代理店の業績が前年比を上回るペースで堅調に推移しており、当社グループの事業領域であるプロモーション領域におきましても同様の傾向にあります。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略に基づいて従来の戦略市場である流通および日用雑貨業界を中心に、VMD商材(注1)、WEB連動キャンペーンなど、昨今の顧客の販促ニーズの変化に対応した商材提供による既存顧客の深堀りに加え、その他の業界での新規顧客開拓や、キャラクター物販などの商材等、戦略市場および提供サービスの幅をひとつひとつ広げべく積極的な事業展開を行ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上高において、流通およびOEM(注2)顧客向けが好調だったものの、前年同期のワールドカップ関連ならびに飲料顧客向けの消費税増税対策キャンペーン等の特殊要因をカバーすることが出来ず、全体としては前年同期比で減収となりました。一方、売上総利益率は、全社的な利益率改善活動の結果、前年同期比で上昇したものの、営業利益、経常利益および四半期純利益は、前述の減収により前年同期比で減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,387百万円(前期比7.5%減)、営業利益は105百万円(同22.6%減)、経常利益は114百万円(同25.8%減)、四半期純利益は58百万円(同25.7%減)となりました。

(注1) 商品展示効果を高めるため、店舗全体の空間デザインから商品の展示・陳列までを統合的に提供する商材およびサービス

(注2) 発注元企業の名称やブランド名で販売される商品

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて76百万円減少し、5,532百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて143百万円減少し、1,472百万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加したものの、買掛金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて66百万円増加し、4,060百万円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点においては概ね予定の範囲内で推移しており、平成27年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,835	2,233,705
受取手形及び売掛金	2,371,133	1,911,220
商品	264,158	299,901
その他	185,694	136,573
流動資産合計	4,709,821	4,581,400
固定資産		
有形固定資産	32,859	31,160
無形固定資産	84,645	71,664
投資その他の資産		
投資有価証券	499,385	586,222
その他	282,562	261,917
投資その他の資産合計	781,947	848,139
固定資産合計	899,453	950,964
資産合計	5,609,275	5,532,365
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,763	704,077
未払法人税等	53,315	22,326
賞与引当金	60,360	104,000
その他	398,088	277,978
流動負債合計	1,268,527	1,108,382
固定負債		
長期末払金	184,389	184,389
退職給付に係る負債	162,860	164,357
繰延税金負債	—	14,942
固定負債合計	347,250	363,689
負債合計	1,615,777	1,472,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	220,562	220,562
資本剰余金	335,400	345,801
利益剰余金	3,251,876	3,226,366
自己株式	△62,359	△57,291
株主資本合計	3,745,479	3,735,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,113	168,629
繰延ヘッジ損益	72	—
為替換算調整勘定	122,649	115,475
その他の包括利益累計額合計	210,834	284,105
新株予約権	37,183	40,748
純資産合計	3,993,497	4,060,293
負債純資産合計	5,609,275	5,532,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,582,065	2,387,569
売上原価	1,849,825	1,670,684
売上総利益	732,240	716,884
販売費及び一般管理費	595,302	610,962
営業利益	136,938	105,921
営業外収益		
受取利息	285	1,144
受取配当金	1,500	1,059
受取保険金	11,363	1,450
投資事業組合運用益	2,955	6,738
その他	1,615	1,439
営業外収益合計	17,720	11,833
営業外費用		
為替差損	—	2,512
その他	—	503
営業外費用合計	—	3,016
経常利益	154,658	114,739
特別損失		
固定資産除却損	1,324	—
特別損失合計	1,324	—
税金等調整前四半期純利益	153,333	114,739
法人税、住民税及び事業税	95,402	53,315
法人税等調整額	△20,711	2,964
法人税等合計	74,691	56,280
少数株主損益調整前四半期純利益	78,642	58,458
四半期純利益	78,642	58,458

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,642	58,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,540	80,516
繰延ヘッジ損益	△31	△72
為替換算調整勘定	△16,268	△7,173
その他の包括利益合計	△4,759	73,270
四半期包括利益	73,883	131,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,883	131,729

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。